



廣部 真造 議員

### 公共交通システムの更なる改善と工夫について

問

公共交通の更なる改善と工夫について。

答

利用者のニーズの充足を図るため、多様な運行形態を当市に当てはめ、検討していきます。

問 公共交通の運営課題は、解決に至っていないと感じる。

他地域の事例をそのまま取り入れても当市の課題解決につながらないと思うが、過去の答弁は他の事例を研究、検討するというものであったと理解している。具体的にどのような調査研究を実施していくのか。

答 都市政策部長

公共交通における課題については、運行に必要な経費が多額となることや乗務員不足、利便性の維持・向上など多岐にわたり、少子化や高齢化などの社会情勢による変化に柔

軟に対応すべきものと考えています。高島市は広大であり、旧6町村ごとに中心地があり、集落が点在しています。

その全地域を公共交通でカバーするには多額の経費を要することや、現在の車両台数や乗務員数では運行できる便数も限られ、利用者のニーズが満たされていない実情であることも承知しています。また、ちづくり推進会議からの提案や他市事例の研究、またAIなどの先進技術を導入している自治体や、それを提供している企業から知見を得るなど、活用の可能性の模索あるいは

問

乗務員不足が深刻化すると路線の維持、運行が難しくなる。市としても何か取り組むべきではないか。

答

乗務員不足については直ちに危機的な状況に陥るとは認識していませんが、中長期的には乗務員不足が危惧されま

国土交通省の制度等についても調査研究を進めています。

当市の実情に応じた公共交通体系を目指して検討していきます。

答 都市政策部長

す。事業者の努力だけで解決できない課題があるとするれば、

行政としてできることはないかを考え、事業者との連携を密にしながら乗務員不足とならないよう、より良い公共交通を目指して引き続き調査研究、改善を進めていきます。



その他の質問

○業務を期限内に達成するために